

絵解き(えとき)公演

じゅう れん あん らく もの がたり

住蓮安樂の物語

ダブル ダブリュー ジー

WWとGの悲劇

立場が違えば、悲劇の見え方も変わる

承元元(建永2)年(1207)
念仏に生きた二人の僧
住蓮と安樂は処刑された

教えに導かれた宮廷女房の
松虫姫と鈴虫姫、
怒りの中心にいた後鳥羽院

三者それぞれの
視点から、
一つの法難を
照らし出す絵解き

JASRAC許諾済み

会場 安樂寺(京都市左京区鹿ヶ谷御所ノ段町21番地)

開催日 2026年10月18日(日) 午前の部10:00～
午後部13:30～

志納料 2,000円～(当日、会場にて集金)

予約 事前予約制/各回50名・自由席

お問い合わせ 安樂寺電話:075(771)5360
栢田E-mail:soryoeishin@gmail.com

当日の流れ

9:00～	本堂にて追善法要(住職・英伸) ※参詣は任意
10:00～12:00	午前の部:前説(先住職)/絵解き/後説 (開場9:30)
13:30～15:30	午後部:前説(先住職)/絵解き/後説 (開場13:00)

えとし ますだ えいしん みださんどう
絵解き師 栢田英伸(弥陀讃堂)



浄土宗僧侶、絵解き師。
三河すーぱー絵解き座
所属。地獄極楽図や仏伝
涅槃図など、数々の絵解き
を手がけてきた。2025年春には
NY・コロビア大学でも聖徳
太子の絵解きを披露している。

女性絵解きユニット「椿三比丘尼」では台本作画演出
を担当。

動画法話(Podcast)講座を組み合わせて仏教を伝える
「弥陀讃堂」を主宰。

京都黒谷・西翁院所属。

推薦 住蓮・安樂/松虫姫・鈴虫姫の寺が絵解かれて聖地となる

日本仏教史上に名高い「承元の法難」。この事件により法然上人と親鸞
聖人の師弟は配流され、それぞれ浄土宗・浄土真宗の始まりを画する原点
となった。

しかしその陰で、迫害の矢面に立ち、処刑されて殉教した住蓮と安樂の存
在は、歴史の表舞台に現れることがない。さらに事件の発端となったとされる
宮廷女房たちに至っては、スキャンダルの主として、ただ「松虫・鈴虫」とい
う名で物語の中に伝えられるのみである。しかし、伝承される語りの中にこそ、
表層的な「史実」の背後に隠された人間の「真実」の声が響いているので
はなかろうか。

栢田師の絵解きは、絶えず創造的な常に一つの形に止まることを知らない
ローリングストーンのように変幻自在の絵解きを見せてくれる。その多芸多才
によって、安樂寺に伝わる開基の縁起—住蓮と安樂、そして松虫と鈴虫の
悲劇—は、果たしてどのような物語として立ち現れることであろうか。期待は今
から嵩じてやまず、想像しながら楽しんでいるところである。

阿部泰郎氏

名古屋大学名誉教授・龍谷大学研究フェロー

詳細・お申込み

QRコードから特設ページへ
<https://midasando.jp/anrakuji>
<https://anrakuji-etoki.peatix.com/view>



主催



京都住蓮山 安樂寺